

航空交通管理センター(航空交通管理管制技術業務)

航空交通管理管制技術官は、ATMセンターにおいて、CNS運用調整及びシステム運転管理などを行うことにより、関係機関と連携して、航空交通の安全確保と航空交通容量の拡大を図っている。

CNS運用調整



【施設の運用状況画面】

状況把握

CNS運用調整対象施設に係る運用調整



航空機が運航に利用する航空保安施設等の運用状況を一元的に把握し、施設の保守や異常による航空交通管理への影響を最小限に留めるため、関係機関との運用調整を24時間体制で行っている。

ATM運用室内での連携



気象庁の予報官、防衛省の連絡調整官、管理管制官、管理管制運航情報官と航空保安無線施設や情報処理システムの運用情報等を迅速かつ正確に共有し、効率的な空域利用・円滑な航空機運航を実現するため、運用調整を図っている。

システム運転管理



飛行情報管理処理システム(FACE)、航空交通管理処理システム(TEAM)などの航空機の安全で効率的な運航に欠くことが出来ない重要システムが常に安定して機能するよう24時間体制で運転管理している。

連携

連絡調整

運用計画
運用調整

運用状況の
提供

外国管制機関



管制部・空港事務所等



航空機運航者

